

# 事後評価書

要因 事業	(1) 事業概要	(2) 事業による環境の変化	(3) 事業(農業)を巡る社会経済情勢の変化	(4) 事業により整備された施設の維持管理状況	(5) 県民の意見																																												
農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	<p><b>事業名</b> 農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業</p> <p><b>地区名</b> 大野岳3期地区</p> <p><b>所在地</b> 伊万里市南波多町</p> <p><b>工期</b> 平成7年度～平成14年度</p> <p><b>総事業費</b> 574,584千円</p> <p><b>事業内容</b> 農道改良(新設) L=1,591m B=5.5(6.5)</p> <p><b>関連する事業</b> ・農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業 「大野岳地区」 S63年度～H9年度 「大野岳2期地区」 H2年度～H9年度</p> <p>・ふるさと農道緊急整備事業 「大野岳地区」 H8年度～H9年度 「大野岳2期地区」 H11年度～H14年度 「花房地区」 H5年度～H8年度</p>	<p><b>社会文化環境</b> 本事業により整備された農道は、生活道路や集落間の交流を促進するアクセス道路としても利用されている。</p> <p>【事業実施前】  【事業実施後】 </p> <p>本農道の整備により、地域農業の振興が図られ、受益地内で収穫された果樹(梨、ぶどう)は一部、受益地内の事業完了後に開設された直売所で販売されており、県内外の人から利用されている。</p> <p></p> <p>【松ちゃん農園概要】 ・平成15年7月開設 ・毎年7月～10月まで期間限定営業</p>	<p>伊万里市の総人口、農業就業人口等の変化 伊万里市は北部九州の西部に位置し、人口約6万人で古くは「古伊万里」の積出港、また、近年では伊万里湾総合開発を軸に近代的な工業港を有する市として発展している。</p> <p>このような中で、農業就業人口は減少傾向にあり、また高齢化により、65歳以上の割合は増加している。しかし、経営規模が3ha以上の農家は増加していることから、担い手農家への農地集積は徐々に進んでいるものと考えられる。</p> <p>・伊万里市の変化 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H7</th> <th>H17</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総人口</td> <td>60,348</td> <td>59,003</td> <td>1,345</td> </tr> <tr> <td>農業就業人口</td> <td>5,175</td> <td>4,386</td> <td>789</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>2,371</td> <td>2,668</td> <td>297</td> </tr> <tr> <td>高齢化率</td> <td>45.8</td> <td>60.8</td> <td>15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・経営規模別農家数 単位:戸</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H7</th> <th>H17</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総農家戸数</td> <td>3,706</td> <td>2,592</td> <td>1,114</td> </tr> <tr> <td>0～1ha</td> <td>2,391</td> <td>1,526</td> <td>865</td> </tr> <tr> <td>1～3ha</td> <td>1,227</td> <td>967</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>3～5ha</td> <td>78</td> <td>84</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>5ha～</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【農業センサス】</p>		H7	H17	増減	総人口	60,348	59,003	1,345	農業就業人口	5,175	4,386	789	65歳以上	2,371	2,668	297	高齢化率	45.8	60.8	15.0		H7	H17	増減	総農家戸数	3,706	2,592	1,114	0～1ha	2,391	1,526	865	1～3ha	1,227	967	260	3～5ha	78	84	6	5ha～	10	15	5	<p>事業完了後の維持管理 現時点での農道の維持管理については、伊万里市が直営で不定期に除草作業を実施している。</p> <p></p> <p></p>	<p>農家への聞き取り(アンケート調査)</p> <p>【事業実施後、良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施前は、未舗装で幅員が狭く営農車両の通行等に支障があったが事業実施後はアスファルト舗装になり、幅員も広く、大型営農車両の通行が可能になり、営農作業が便利になった。</li> <li>・特に事業実施後は畜産や果樹の営農面が活性化した。</li> <li>・信号や渋滞等がないため、緊急時や災害時の迂回路として利用している。</li> <li>・近隣町へのアクセスが容易になった。</li> </ul> <p>【事業実施後、悪くなった点及び課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暴走族が徘徊する。</li> <li>・空き缶やゴミの不法投棄がみられる。</li> </ul>
		H7	H17	増減																																													
総人口	60,348	59,003	1,345																																														
農業就業人口	5,175	4,386	789																																														
65歳以上	2,371	2,668	297																																														
高齢化率	45.8	60.8	15.0																																														
	H7	H17	増減																																														
総農家戸数	3,706	2,592	1,114																																														
0～1ha	2,391	1,526	865																																														
1～3ha	1,227	967	260																																														
3～5ha	78	84	6																																														
5ha～	10	15	5																																														
<p><b>背景</b> 伊万里市の北部に位置する本地区は標高424mの大野岳の中腹に拓けた果樹(梨、ぶどう)地帯であり、本地域で生産される梨は伊万里梨の銘柄で全国的に知られている。</p> <p>しかし、基幹となる農道が未整備なことから農産物の流通面や営農作業面で農業振興の阻害要因となっていた。このような状況の中、基幹農道の整備要望が高まっていた。</p> <p><b>目的</b> 地域の背景を踏まえ、基幹的農道を整備し、農業の機械化や農産物の流通の合理化を促進し、地域農業の近代化や農業振興と共に農村生活環境の向上を図ることを目的とする。</p>	<p><b>(6) 事業の効果</b></p> <p><b>事業の直接的効果</b> 本農道の整備により、農業の機械化、走行費用節減、荷傷みの防止などによる農業生産性の向上や農産物の流通の合理化に大きく寄与している。</p> <p><b>事業の間接的波及効果</b> 本農道による農業振興の補完的な役割の成果として認定農業者数が増加している。</p> <p>・認定農業者数 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H7年度</th> <th>H20年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊万里市全体</td> <td>44</td> <td>265</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td>南波多町</td> <td>0</td> <td>69</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p>【市の報告による】</p> <p>大型営農車両による通行(運搬)が可能なることから畜産(肥育牛)の飼育数も増加している。</p> <p>つと考えられる。</p> <p>・畜産の状況(南波多町) 単位:戸、頭</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H7年度</th> <th>H14年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">肥育牛</td> <td>農家戸数</td> <td>32</td> <td>27</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>牛数</td> <td>2,437</td> <td>2,600</td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table> <p>【佐賀県経済連調べ(現JAさが)】</p>		H7年度	H20年度	増減	伊万里市全体	44	265	221	南波多町	0	69	69		H7年度	H14年度	増減	肥育牛	農家戸数	32	27	5	牛数	2,437	2,600	163	<p><b>(7) 地域住民との関わり</b></p> <p>地域住民との交流状況 本事業の受益地内で収穫された果樹を直売所で販売し、産地の恵みにふれあう場となっている。</p> <p></p> <p>【直売所：松ちゃん農園】</p> <p>本事業の受益地周辺で毎年開催されるイベントにより、農村が持つ自然や空間にふれあう場や生産者と消費者の交流の場となっている。</p> <p></p> <p>【フルーツの里ロードレ-ス】</p>	<p><b>(8) 今後の課題等</b></p> <p>維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継承 担い手の減少や高齢化が進行している中、施設の適正な維持管理が後世にスムーズに引き継がれるような体制の整備が必要である。</li> <li>・費用節減 今後、施設の老朽化に伴う維持管理費の増大が懸念されるため、農道の機能を長年にわたり保持するためや更新時期等の検討を行い、ライフサイクルコストの節減を図る。</li> <li>・体制 伊万里市では、市民等がボランティアとして、公共施設の里親となって環境美化に対する意識の高揚を図り、市との協働による地域活動を推進することを目的とする、新たな地域住民参加型の維持管理方式「アダプトシステム」を一部の公共施設(公園)において導入している。</li> </ul> <p>農道も生活関連で多目的な利用が考えられることから、「アダプトシステム」による維持管理体制の構築を図りたい。</p>	<p><b>(9) 新規箇所評価、再評価への反映、改善点等</b></p> <p>改善点 事業完了後、農道の長期にわたる機能保持ためには維持管理が重要であるため今後は、農道の営農上の利用促進はもとより事業完了後の維持管理についても更に地域住民の協力が得られるように事業の計画段階から地域内で話し合いを十分にを行い、スムーズに農道の維持管理体制が整えられるよう対応していく。</p>																				
	H7年度	H20年度	増減																																														
伊万里市全体	44	265	221																																														
南波多町	0	69	69																																														
	H7年度	H14年度	増減																																														
肥育牛	農家戸数	32	27	5																																													
	牛数	2,437	2,600	163																																													

